

「高齢者入院における Multimorbidity と入院後の Barthel index の変化との関連についての検討」

1．研究の対象

2016年10月1日から2021年3月31日の間に当院総合内科、高齢診療科に入院し当科で治療を行い退院した65歳以上の方

2．研究の期間

研究倫理審査委員会承認日～2024年3月31日

3．研究目的および意義

高齢者は入院の原因となった疾患の改善にも関わらず、経口摂取困難、移動能力の低下、認知機能の低下などによるADL（日常生活動作）低下を認めることが多くみられます。その結果退院困難となり、入院日数の延長や栄養投与経路の変更などが必要となることが考えられます。また、高齢化社会の進行に伴い、Multimorbidity（多疾患罹患）を認める高齢者が増えており、様々な予後に影響を与えている可能性が高いと考えられています。ADL（日常生活動作）低下のリスク因子を調べることにより、入院後の速やかな退院支援の導入や患者・患者家族への見通し説明などが可能になると考えられます。

そこで、当センターに入院となった65歳以上の高齢者の入院時の薬剤データ、併存疾患、採血データを用いてMultimorbidity（多疾患罹患）の指標となるスコアを作成し、それが入院中のADL低下（Barthel indexの変化）と関連あるかどうかについての研究を行います。

Barthel index：ADL（日常生活動作）を評価する指標の一つです。

介護やリハビリを受けている方、病気や障がいを持つ方の日常生活で使う身体的能力を把握するために使われています。

4．研究の方法 電子カルテから情報を収集させていただきます。

5．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、併存疾患（神経精神疾患、心疾患、糖尿病、消化器疾患、呼吸器疾患、貧血、慢性腎臓病）、老年症候群（便秘、慢性疼痛、低栄養、嚥下障害）、

入院時内服データ、Body mass index、Barthel index（入院時、退院時）、入院時 DASC-21、入院前食事形態、採血項目（クレアチニン）、入院前ならびに退院先居住場所（例：自宅、施設等）

6 . 研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 岩切 理歌

研究分担者：東京都健康長寿医療センター 高齢診療科 濱谷 広頌，
片岡 愛

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

研究責任者：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢診療科 岩切 理歌

濱谷 広頌

電話 03-3964-1141（平日 9：00～17：00）

-----以上